

日程表・プログラム 第2会場（中講堂）

9:00～10:30	教育講演 3学会合同講演		
EL	「ChatGPTを臨床に活用する方法」		
	演者	日高リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター 副主任	海津 陽一
	座長	国際医療福祉大学病院	塙見 誠
10:40～12:10	シンポジウム 3学会合同講演		
SY	「栃木県の地域共生社会の未来について語る」		
	座長	だいなリハビリクリニック	細井 直人
	「栃木県における地域共生社会の取組とリハビリテーション専門職への期待」		
	演者/シンポジスト	栃木県 保健福祉部 高齢対策課 副主幹	長谷川 真澄
	「宇都宮市の重層的支援体制整備事業について」		
	演者/シンポジスト	宇都宮市 保健福祉部保健福祉総務課 地域共生推進室 係長	野澤 純
	「地域共生社会におけるリハ専門職の役割」		
	演者/シンポジスト	介護老人保健施設 リハビリパーク ぶどうの舎 リハビリ課	
		栃木県リハビリテーション専門職協会 地域包括ケア・介護予防推進部会 部会長	
			寺田 圭甫
	シンポジスト	村井クリニック 院長 / 宇都宮市医師会 在宅医療・社会支援部担当理事	村井 邦彦
13:00～14:00	STセレクション演題		
	座長	足利赤十字病院	川島 広明
S-S1	介護老人保健施設に入所する85歳以上の高齢者の嚥下機能と食形態の経時的変化に関する調査		
		介護老人保健施設 夢彩の舎	小野崎 夏海
S-S2	ESPにより嚥下機能が改善し経口摂取が可能となった症例		
		とちぎメディカルセンターとちのき	竹村 優花
S-S3	神経心理検査と運動技能評価における乖離の検討～教習所との連携を通じて～		
		国際医療福祉大学塙谷病院	益子 和人
S-S4	交叉性失語症例に対するRISP訓練の効果		
		国際医療福祉大学	小林 佑哉

14:10~15:10

PTセレクション演題

座長

足利赤十字病院

北岡 清吾

国際医療福祉大学

渡邊 観世子

S-P1 神経筋電気刺激と弾性テープによる足関節可動域拡大効果

:ランダム化クロスオーバー試験を用いた静的ストレッチングとの比較 国際医療福祉大学病院

伊藤 梨也花

S-P2 通所高齢者における筋肉量過剰判断の加齢的变化

国際医療福祉大学塩谷病院

山木 遥介

S-P3 多職種連携による訪問リハビリテーションが重症心不全患者の再入院予防と生活空間の拡大に寄与した一症例

さつきホームクリニック さつき訪問リハビリステーション

水沼 史明

S-P4 食思不振、運動意欲低下した重度サルコペニア患者に対し、筋肉量増加と身体機能向上を目標に
管理栄養士と連携し介入した症例

新上三川病院

中林 確樹

S-P5 心不全患者における不安の構造的特性と臨床的要因との関連性の検討

—STAIを用いた主成分分析によるサブ解析— 国際医療福祉大学病院

遠田 海佳

S-P6 食の“単調さ”がフレイルを進行させる

—地域在住高齢者における食品摂取多様性と1年後のフレイル悪化との関連—

国際医療福祉大学

広瀬 環

15:20~16:00

OTセレクション演題

足利赤十字病院

松川 勇

今井病院

伊是名 興平

S-O1 高次脳機能障害に対するCBAカンファレンスの有用性の検討 一身体拘束解除と在宅復帰を達成した一症例一

新上三川病院

小野塚 美冬

S-O2 横骨遠位端骨折術後患者における動作遂行前後の主観的遂行度の検討

獨協医科大学日光医療センター

飯塚 裕介

S-O3 当院におけるZone5手指伸筋腱断裂に対するICAM法(制限下早期自動運動)を用いた作業療法実践

石橋総合病院

清永 健治

S-O4 箸操作における「出来ない」という思い込みが変化したパーキンソン病患者

～満足度向上と行動変容に繋がった一症例～ 国際医療福祉大学病院

柳沢 安純

S-O5 保育所との連携による新たなリハビリテーション提供体制「リハビリ保育」における介入量の実態調査

つくば公園前ファミリークリニック

方喰 醇

S-O6 “主婦という役割”を取り戻した生活のリズム～MOHOSTとOSAによる主体的生活の再構築～

新上三川病院

高山 励人